

地域住民のリーダーを対象とした
平成26年度在宅医療普及啓発セミナー

目的

地域住民ができる限り住み慣れた地域・家庭で、安心して在宅医療を受けられる体制を整備するために、地域住民のリーダーに対する情報提供や普及啓発を図る。

事業内容

地域住民代表として住民に1番近い存在である民生委員や在宅福祉アドバイザー等に、住民が地域で安心して在宅医療を受けられる体制の必要性やそれぞれの立場での関わり方(役割)を理解してもらうためのセミナーを開催する。

※各地域振興局・支庁、屋久島事務所、徳之島事務所 各1回

対象者

民生委員、児童委員、在宅福祉アドバイザー 等

実施期間

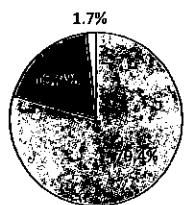
平成26年7月中旬～平成27年3月

在宅医療普及啓発セミナーアンケート集計結果

※既実施地域 4会場の合計 セミナー参加者総数 305名 アンケート回収数 242名

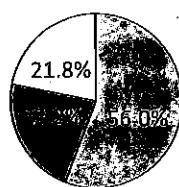
在宅医療という言葉を知っていたか。

- 以前から知っていた 聞いたことはあった
 今回初めて知った



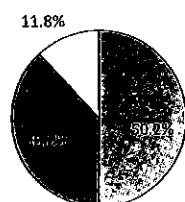
あなたが暮らしている地域で、現在、「在宅医療」を受けている人がいるか。

- いる いない わからない



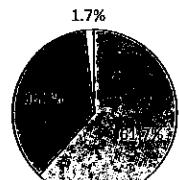
日頃の活動を通じて、「在宅医療」に関することが話題になることがあるか。

- ある ない わからない



日頃の活動を通じて、支援が必要と思われる高齢者の方を「地域包括支援センター」に連絡(情報提供)したことがあるか。

- ある ない わからない



在宅医療普及啓発セミナーインケート意見(抜粋)

安心して暮らせる地域をつくるためにあなたができること、今後できると思うことは何ですか？

- ・できるだけ相手の声を聞き、できることがあれば手助けし、安心して暮らせる集落づくりにはげみたい。
- ・高齢者の見守り・安否確認・サロンの充実
- ・子ども達にも声かけし地域の中で生きていることを理解させてあげたい
- ・在宅医療が望ましいと思う反面、諸条件的に厳しいものがある。現状としての地域の支え合い、自身の健康維持に努めたい。

セミナーに参加しての意見や感想をお聞かせください。

- ・在宅医療について、まだ地域での認識は不十分。これから地域力をあげていく必要がある。
- ・在宅医療を望んでいるが医師不足など、将来自分たちが受けられるか不安
- ・自分が看取られるとなると家族の負担を考えてしまう。
- ・高齢者を尊重していける人、また、地域づくりが大事だと思う
- ・貴重な事例発表を聞かせていただき感動した。

高齢者元気度アップ地域活性化事業と地域包括ケア

高齢者元気度アップ地域活性化事業

高齢者元気度アップ・ポイント事業

- 65歳以上の高齢者(個人)が対象
- 高齢者の健康増進、介護予防活動、社会参加活動にポイントを付与

介護
予防

社会
参加

ボランティア等の人材発掘・育成、
ネットワーク化、活躍の場づくり

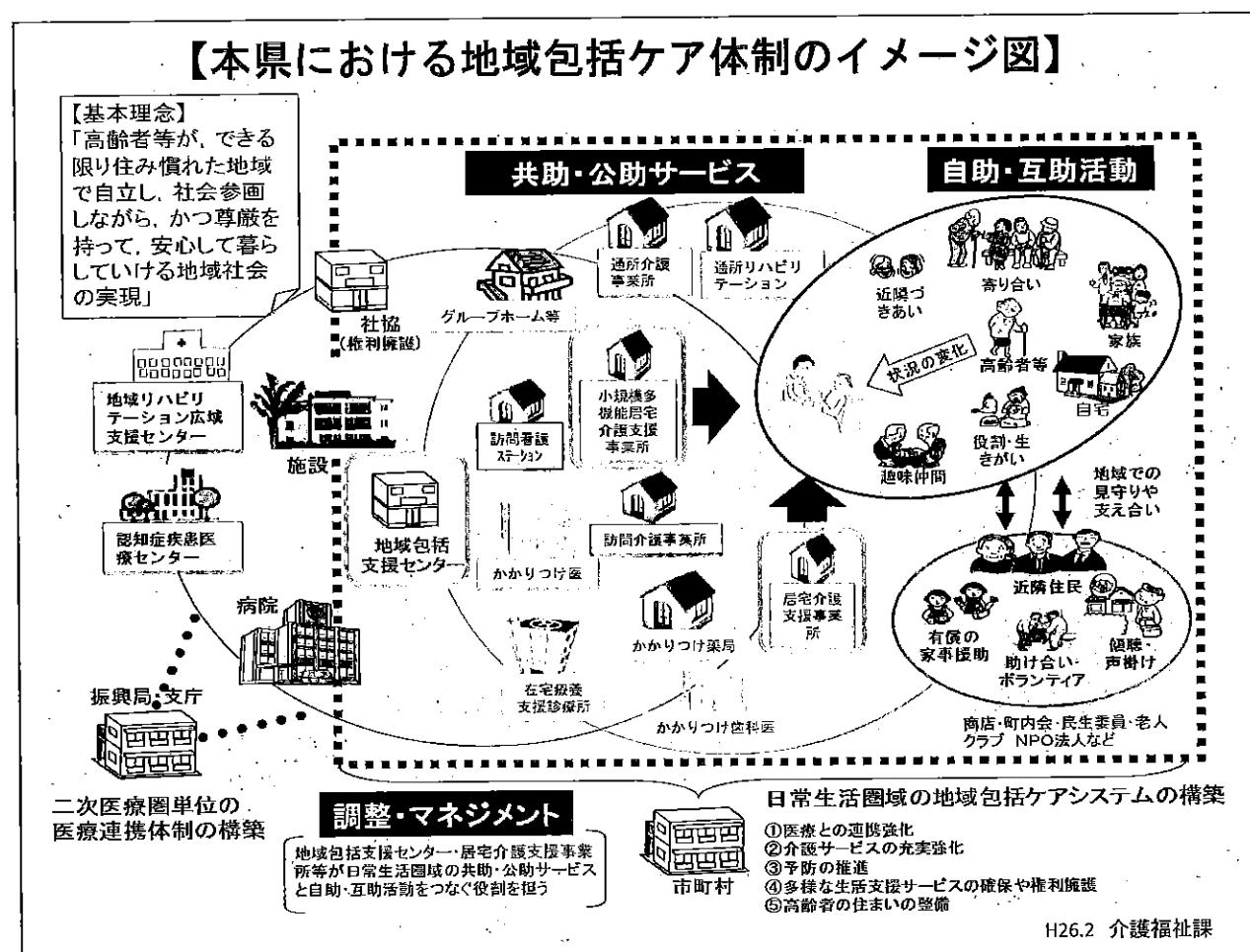
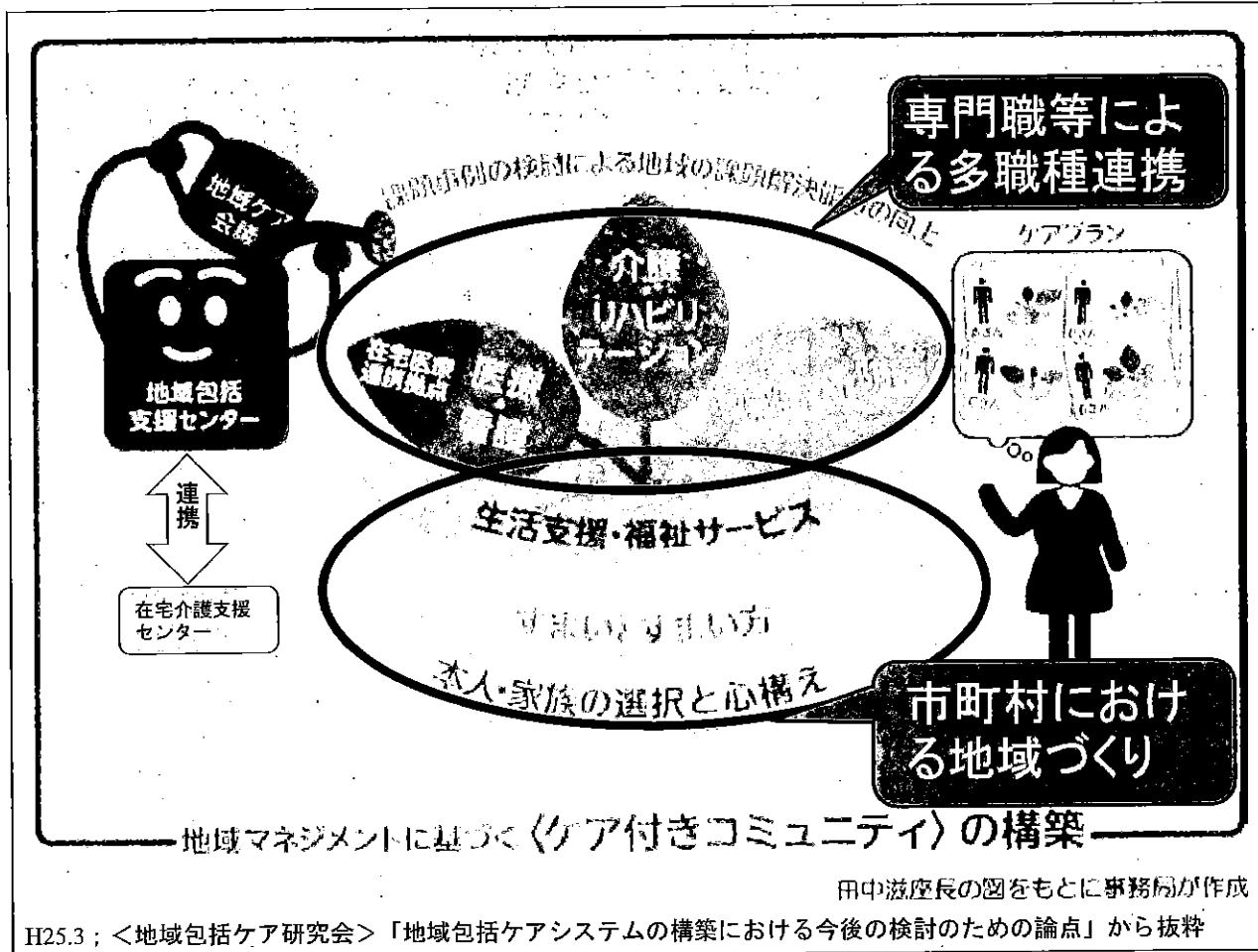
高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業

- 65歳以上の高齢者を含むグループが対象
- グループが主体的に取り組む互助活動にポイントを付与

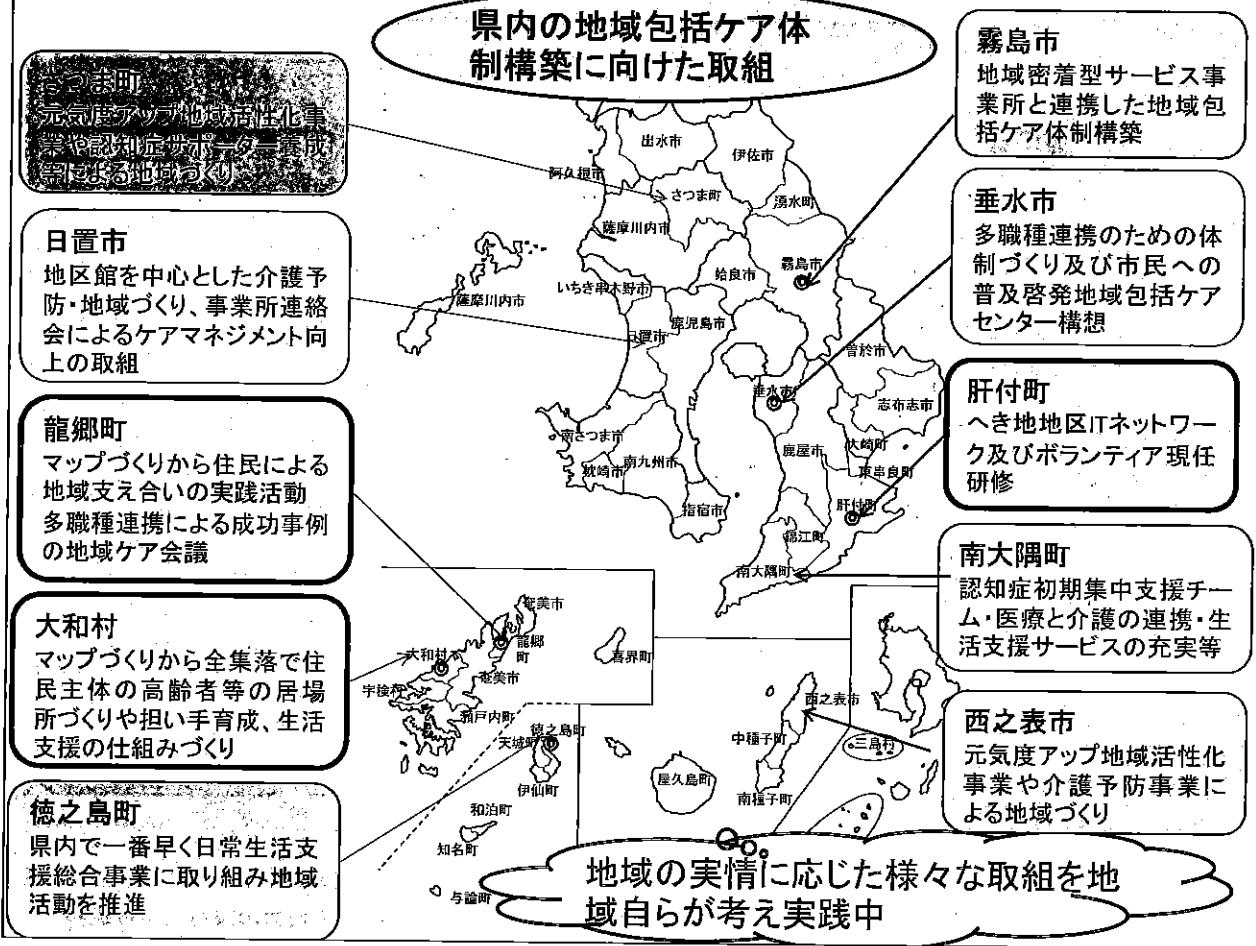
互助活動
促進

世代間
交流

地域包括ケアの推進



県内の地域包括ケア体制構築に向けた取組



肝付町「ハイカラ「じい」「ばあ」の「あいぱっと」講座 孫にはまけないよ!(^~^)!



龍郷町「見守り応援隊」集落の問題は集落の力で解決

夜の見回り



一人暮らしの方など見回りがてら火の用心とウォーキング！

自分の健康づくりになりました♪

住民の方の変化や、いざというときは支援しています。

集落の方も、「困ったことを気軽に相談できる。」と、この活動を頼もしく思っています。

地域の寄り合い所



集落の商店に毎日17人来ている。→机いすを置いて身近なサロン安否確認ができている

おしゃべりの場で困りごとや愚痴などを聞いている。高齢者や障害者の情報が把握できます。

地域で食事会



月の1回、住民の方が自分たちで食事会！集落で食事で困っている人（男性介護者等へ食事のおすそ分け）

大和村「ご近所力で不自由でも行きたい場ができた」



地域包括 ケアシステム

身近な地域で安
心して暮らせる
まちづくり

- 地域住民が自分らしく安心して暮らせる
- 安心して老いることができ、
- そこで生涯を全うする選択もできるまち

たとえ病気や障害が
あっても地域での生活
の力を回復するしくみ

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム
(厚労省HP)

80歳全国最高齢のケアマネジャーの言葉

ケアマネジャーの仕事は「介護を必要としている人にベストなケアプランを作りプランの持つ目標に向けたコーディネートすること」である。

介護保険制度の内容を熟知していることはもちろん、利用者に合わせたケアプランを作ることができる専門的な知識や技術を持っていなければならない。

元志布志町長奮闘記「わが激動の足跡」2004年12月7日黒木隆之著から抜粋

八十五歳。

意気ますます軒昂なり。

丈夫な体に恵まれたこと、働く場所があること、よき友人、よき職員に恵まれたこと。そして何よりよき伴侶がそばにいてくれること。

黒木隆之はまこと、幸せな男である。幸せであることを少しでもこの世に還元していけるのならば、さらに大きな喜びだと思う日々である。

元志布志町長奮闘記「わが激動の足跡」2004年12月7日黒木隆之著から抜粋

心豊かで 活力ある長寿社会を目指して



生活支援・福祉サービス

すまいとすまい方
本人・家族の選択と心構え

田中造園の園をもとに事務局作成

ご静聴 ありがとうございました

Memo